

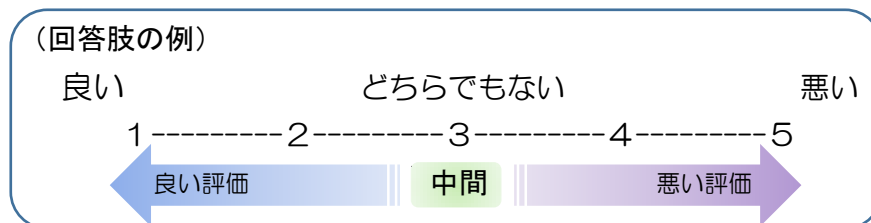
●鎌倉市本庁舎整備方針市民対話を振り返って

本庁舎の整備方針の策定に市民目線や市民感覚を取入れていくため、本庁舎の現状と課題を共有しながら、本庁舎に求める具体的な機能やサービス、庁舎整備とまちづくりをどう考えるかなどについて、市民の皆さんと共に検討し、多様な意見を伺うための市民対話を継続的に開催してきました。

この市民参画の手法について、振り返り、今後も市民参画の場を設けながら取組を進めるために、市民対話メンバー*に無記名のアンケート調査（任意回答）を行いましたので、その結果をお知らせいたします。

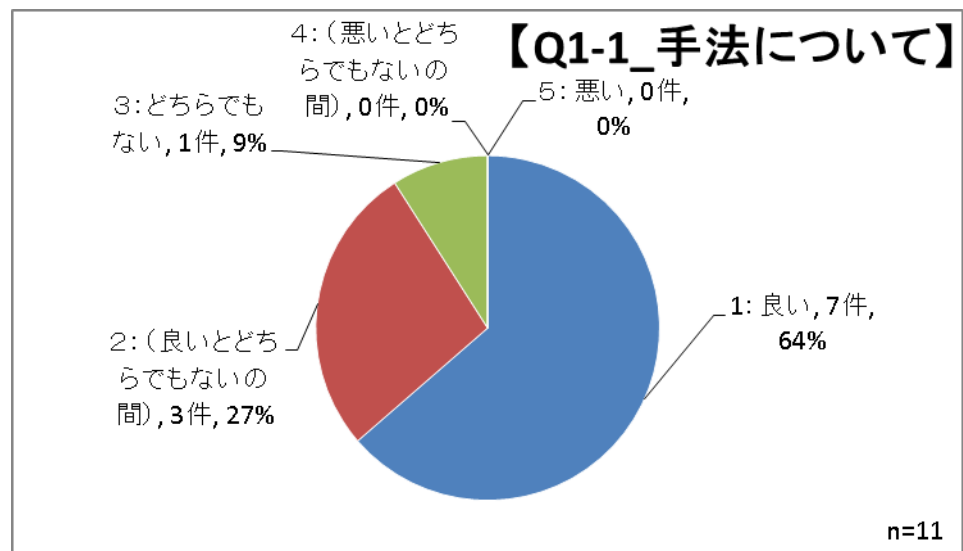
*本市が無作為に抽出した市民と市内の高等学校（10校）・大学（鎌倉女子大学）に通う市内在住の生徒・学生のうち、市民対話に参加を希望された人

アンケートのQ1の設問は、次のような5段階の中から回答を選ぶようお願いいたしました。



■Q1-1

市民対話によって市民の意見を市政に取り込む今回の手法はいかがでしたか。



市民対話の手法について伺ったところ、なかなか参加できなかったということで「3：どちらでもない」と回答された方以外の約9割の方が、今回の市民対話の手法を良い評価で回答されました。なお、この設問における自由記入欄の記載（任意記載、以下同様。）の一例を照会します。

「1：良い」と回答の方

- ・たいへん大きな重要なテーマですので、広く市民の声を聞いて方向性を探ることは大事です。
- ・市民目線を気にして下さったことが大変良かったです。

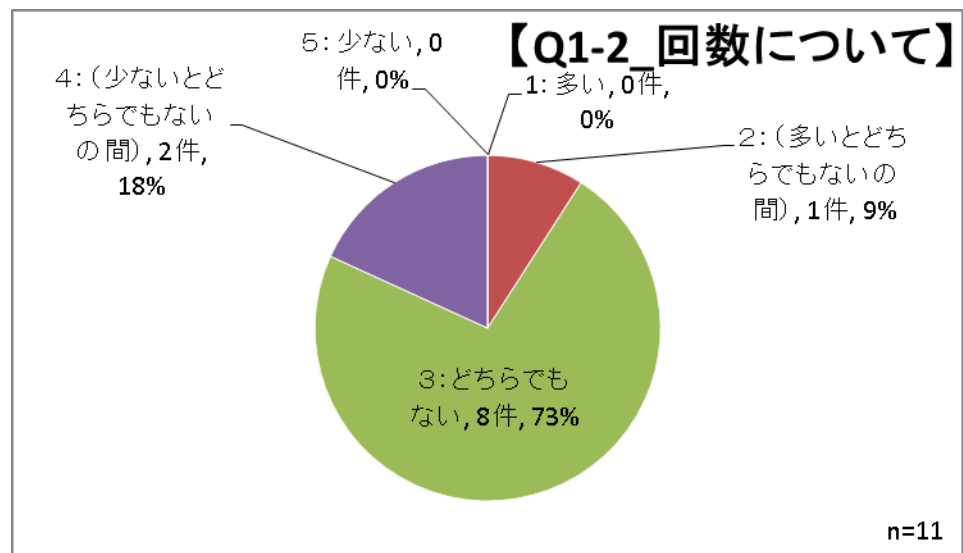
- ・連絡調整、日時の設定などとても大変な作業です。私たち市民の意見を最後までまとめ、しかも公平性と正確さもできる限り追求していることを感じました。
- ・全員の意見を取り入れることができていると思います。

「2：（良いとどちらでもないの間）」と回答の方

- ・市民で様々な議論を行う場というのは大変貴重であり、有意義でありました。ただし、今回は着地点が不明瞭で皆さんの中で認識のずれが生じていたかと思われました。

■Q1-2

今回の市民対話は、全体で5回という構成でしたが、開催回数はいかがでしたか。



開催回数について伺ったところ、「3：どちらでもない」と回答された方が約7割で、多すぎず、少なすぎない適当な開催回数であったことが分かりました。

なお、この設問における自由記入欄の記載の一例を照会します。

「3：どちらでもない」と回答の方

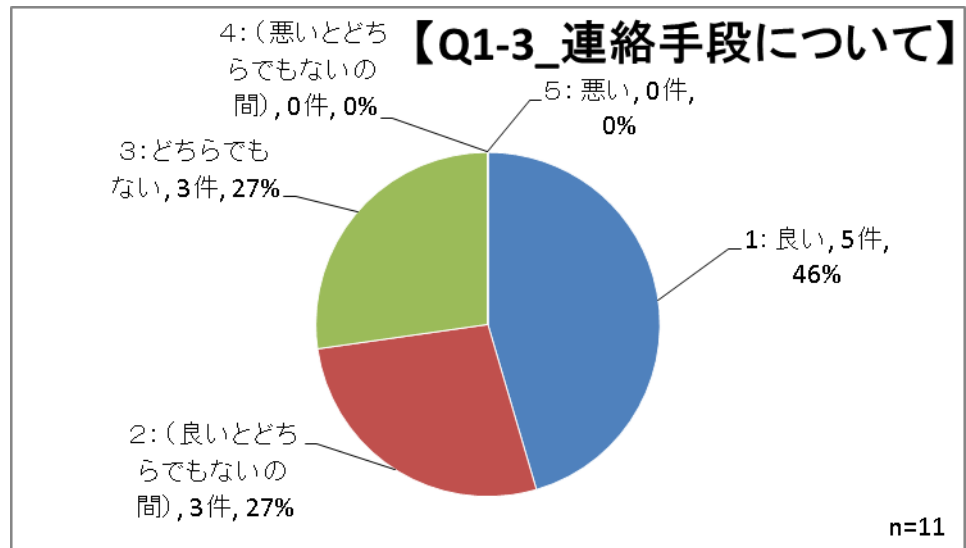
- ・基本的には同じメンバーで、意見も出つくしますので、これ以上の回数は必要ないのでは。
- ・不完全な状態で終わった部分もあったので。しかし日程調整が大変そうでしたので、これ以上は無理でしょうが。
- ・はじめは少ないかなと思いましたが、当日の為に色々と自分で考えて参加できたので、ちょうど良かったと思います。

「4：（少ないとどちらでもないの間）」と回答の方

- ・不完全な状態で終わった部分もあったので。しかし日程調整が大変そうでしたので、これ以上は無理でしょうが。
- ・テーマ（本庁舎整備方針、・・・）によって増減させてもいいかもしれません。

■Q1-3

今回の市民対話では、
電子メールを活用させて
いただきましたが、いか
がでしたか。



連絡手段について伺ったところ、約7割の方が、今回の市民対話で活用した電子メールによる連絡を良い評価で回答されました。

なお、この設問における自由記入欄の記載の一例を照会します。

「1：良い」と回答の方

- ・ 出先などでもすぐ読むことができたのでメールで助かりました。このアンケートもメールがよかったです。
- ・ 郵便と比べ、すぐに日時の情報が得られるので良いと思います。

「2：（良いとどちらでもないの間）」と回答の方

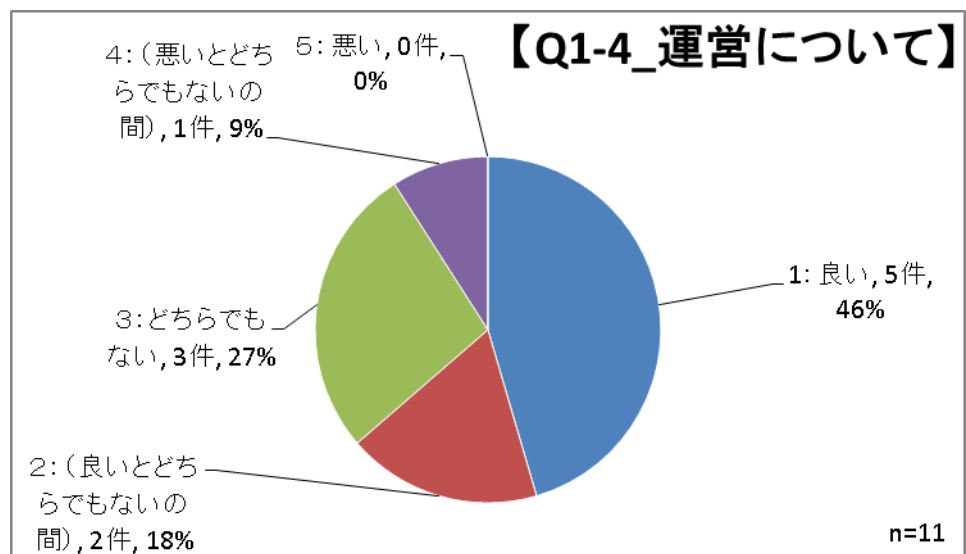
- ・ メールをあまり見ない人もいますので、手紙とメールの両方を使うのが良いと思います。

「3：どちらでもない」と回答の方

- ・ 学校側から連絡が遅くなってしまったりしたので、直接私自身にメールが来てくれれば良かったなと思います。

■Q1-4

今回の市民対話では、
対話の場を作ることに長
けたファシリテーターに
よる運営（市からの業務
委託）を行いました。が、
いかがでしたか。



市民対話の運営について伺ったところ、約6割の方が、今回の市民対話のファシリテーターによる運営を良い評価で回答されました。

なお、この設問における自由記入欄の記載の一例を照会します。

「1：良い」と回答の方

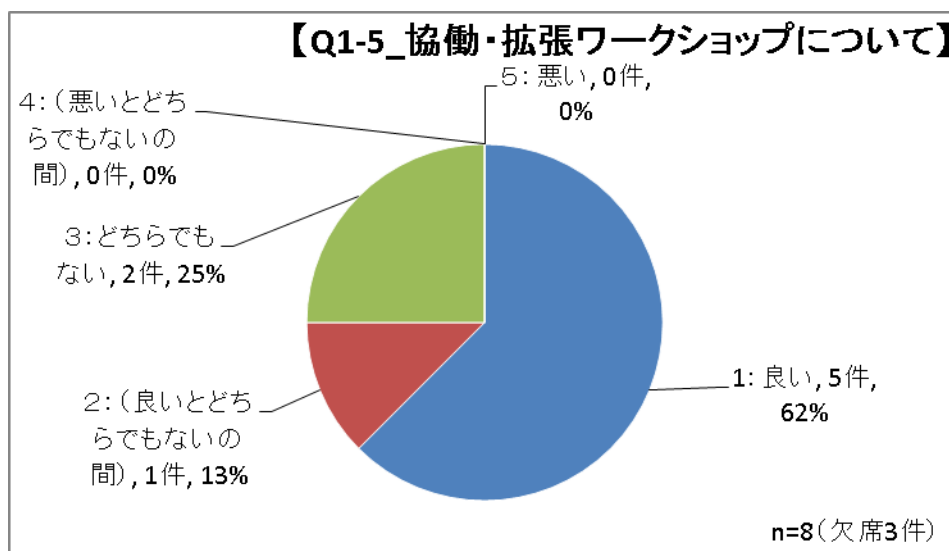
- ・テンポ良く進んでいたの。
- ・今回とても充実した対話ができたと個人的に思います。ファシリテーターの役割は非常に大きいと思います。（自分の仕事にも参考になり勉強になりました。
- ・初めの口は開きにくい場面で、ファシリテーターの方々が司会のような役割をしてくださったので発言しやすかったです。

「4：（悪いとどちらでもないの間）」と回答の方

- ・少し考えようとしている方がいらっしやっても、ファシリテーター様により、円滑に進められていくため、意見を出す機会を逃してしまった等の場面をお見かけ致しましたためです。

■Q1-5

第3回を協働・拡張ワークショップとして、公募の市民を交えて実施しましたが、いかがでしたか。



公募市民を交えて実施した第3回協働・拡張ワークショップについて伺ったところ、約8割の方が、公募市民を交えた開催を行ったことを良い評価で回答されました。

なお、この設問における自由記入欄の記載の一例を照会します。

「1：良い」と回答の方

- ・公募の方は市政に興味がありよく勉強し知識もあり状況を把握している方もいるので参加の機会は作ったほうが良いですね。全ての人が良い意見かは難しいですが。
- ・市民の意見を聞くという点ですばらしいですが、あくまでもそのほんの一部の方であり、また、このようなワークショップに実際に参加される方が必然的に集うので、意見としては少し偏りが生じるのかもしれませんが。
- ・より多くの意見を取り入れることができたので良かったと思います。

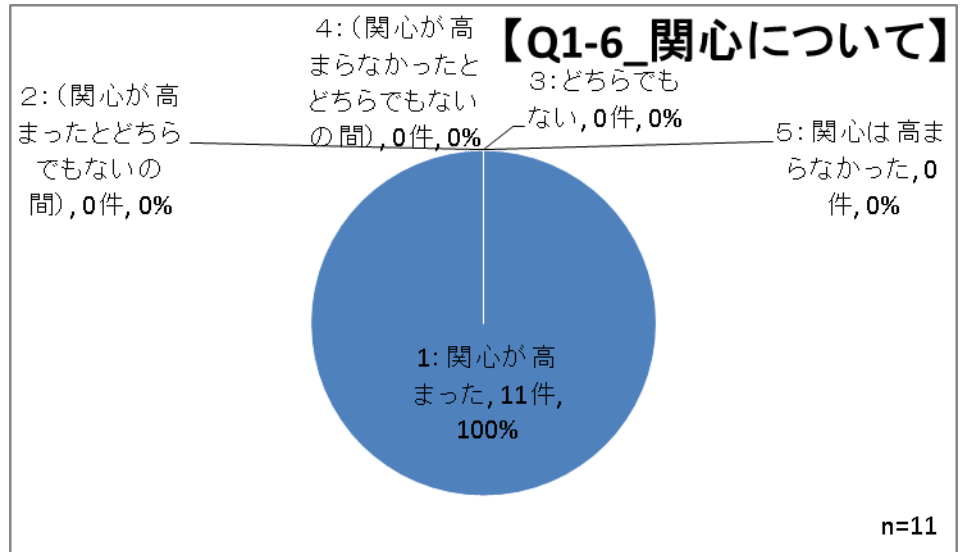
「3：どちらでもない」と回答の方

- ・市民の意見を聞くという点ですばらしいですが、あくまでもそのほんの一部の方であり、ま

た、このようなワークショップに実際に参加される方が必然的に集うので、意見としては少し偏りが生じるのかもしれませんが。

■Q1-6

今回の市民対話への参加を通じて、本庁舎の整備の取組や完成後の本庁舎への関心はいかがでしたか。



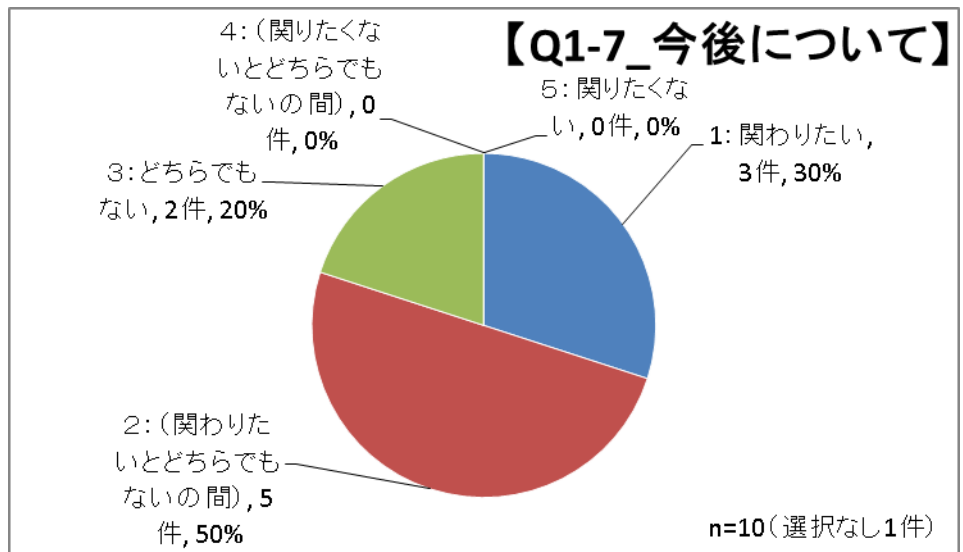
本庁舎に対する関心について伺ったところ、全員の方が、関心が高まったと回答されました。なお、この設問における自由記入欄の記載の一例を照会します。

「1：良い」と回答の方

- ・このテーマの大きさ、困難さを認識出来た。
- ・今まで無関心すぎました。
- ・もともと鎌倉には関心がありますが、行政は少し遠い存在でした。税金払っておしまいではなく、市民としての責任も自覚して行きたい。
- ・参加して初めて知ることも多く勉強になった。新しい本庁舎に関して夢が膨らんだ。

■Q1-7

今後の本庁舎の整備の取組などについて、どのようにお考えでしょうか。



今後の本庁舎の整備の取組への関わり方の意向について伺ったところ、8割の方が今後も関わりたいといった意向で回答されました。

なお、この設問における自由記入欄の記載の一例を照会します。

「1：良い」と回答の方

- ・出しゃばり過ぎない程度にかかわりたいです。少しだけ関わった者として関心を持ち続けたので。
- ・非常に興味のあるテーマなので邪魔でなければ参加したい。
- ・自分たちで考えて地元を作っていくことの大切さや難しさを感じたからです。

「2：（関わりたいとどちらでもないの間）」と回答の方

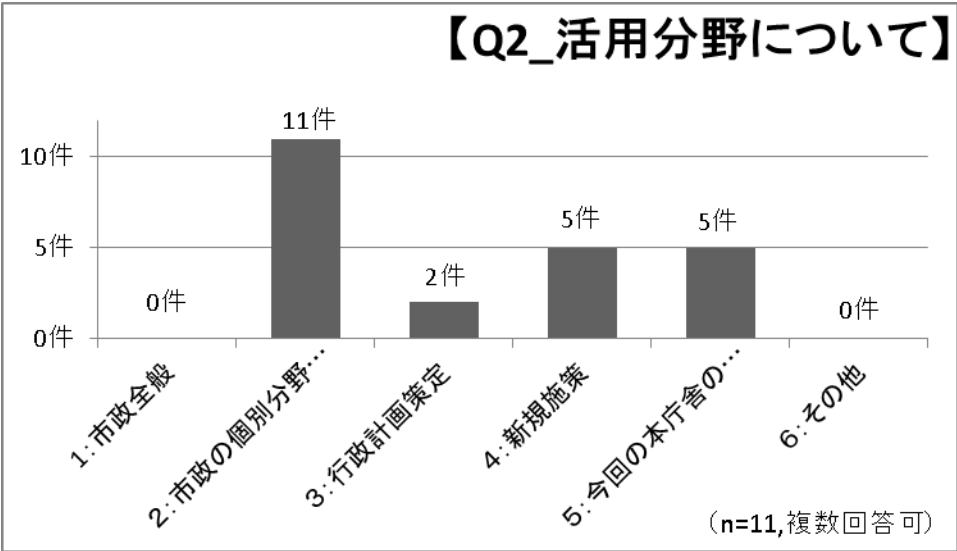
- ・出しゃばり過ぎない程度にかかわりたいです。少しだけ関わった者として関心を持ち続けたので。

「3：どちらでもない」と回答の方

- ・学生は参加しても（口出しても）良いですか？

■Q2

このような市民対話の手法を積極的に活用すべき市政の分野を教えてください。



市民対話の手法の活用分野について伺ったところ、市政の個別分野に多くの回答が集まっていました。

【参考（回答枝）】

1. 市政全般
2. 市政の個別分野（例：観光、子育て、福祉、環境、景観、まちづくり など）
3. 行政計画策定
4. 新規施策
5. 今回の本庁舎のような個別施設整備時
6. その他

■Q3

その他、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

この設問における回答の一例を照会します。

- ・パブコメなども参加する人は限られているだろうし、色々な方法で市民の意見を吸い取る事は必要ですね。
- ・今回の対話に関わった方々、皆さん真剣でしたので対話の質が高く感じました。

●まとめ

本庁舎整備方針策定に向けた市民対話の取組について、無記名のアンケート調査(回収率約8割)により、匿名での評価をお願いしたところ、課題となるご指摘をいただきつつも、多くの回答やご意見は、市民対話に取り組んだことについて、良い評価をいただけていることが分かりました。

また、限られた人数ではありますが、参加いただいた市民の皆さんの本庁舎整備の取組への理解・自分事化に加え、オーナーシップの醸成にも効果があったと考えます。

半年にわたった市民対話(協働・拡張ワークショップ含む)に参加いただいた市民の皆さん、生徒・学生の所属する学校関係者など多くの関係者に、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

なお、今後の本庁舎の整備を含めて公共施設再編の取組にあたっては、引き続き市民の皆さんに参画していただく場を設けながら進めていきます。